紀　　要

第　9　号

茅野市八ヶ岳総合博物館

はじめに

茅野市八ヶ岳総合博物館は、「りんどうの里高原生涯学習都市」構想の一環として、展示・調査・研究・教育などの活動を通して、市民が郷土の自然（大地・水・生物）や、人（歴史・産業・民俗）を正しく理解できるよう学習援助する機関として設置され、12年経過しましたが、その間生涯学習の拠点としての役割を果してきました。

本年度、この館内の一室にかねてより懸案となっていた文芸関係の資料を展示する八ヶ嶽岳麓文芸館を多くの方々のご協力により、10月に設置し開館することができました。

八ヶ岳山麓（山浦地方）は、古くから短歌、俳句、俚謡などの文芸活動が盛んであり、現在でもその活動が脈々と続けられています。

短歌では、正岡子規、伊藤左千夫の流れであるアララギ派の代表的歌人島木赤彦、俳句では慶応義塾で福沢諭吉に薫陶を受け阿心庵晋永機宗匠に俳諧を学び幸徳秋水、中江兆民らと交わった小平雪人が中心となって多くの歌人、俳人を輩出してきました。

このような岳麓にあって、個人的に所有、所蔵保存されている貴重な作品や資料が世代交替により失われてしまうという危機的状況をふまえ、文芸館は寄贈、寄託資料を展示し、市民に岳麓文芸の素晴らしさに触れてもらいたいことと、現在活動されている方々の学習の場として活用されることを願うものです。

この号に自ら年３回の探鳥会を企画し、実施してくださった博物館自然ボランティア両角英晴さんには、身近に見られる野鳥の記録を、また、博物館専門委員下山良平先生には、ヤマア~~マ~~カガエルの繁殖活動の調査研究をご寄稿いただきました。

博物館が地域文化の拠点として各分野にわたり充実してきていますのでこれからも多くの方々に一層のご利用とご協力をいただきたく思います。

最後になりましたが、文芸館の設置にあたり、構想段階から開館にわたり、多大なご尽力をいただいた小口裕稔先生が体調をくずされ入院されましたが一日もはやい回復をお祈り申し上げます。

平成14年６月

館長　小池春夫

目　　次

・ヤマアカガエルの繁殖活動 …………………………………………… 下山　良平　（1）

・茅野市内身近な野鳥観察地 …………………………………………… 両角　英晴　（7）

・八ヶ嶽岳麓文芸館研究資料目録 ………………………………………… 小口　裕稔　(13)
矢崎　恵子

年　　報

・平成11年度事業報告 ………………………………………………………………… (27)

・平成12年度事業報告 ………………………………………………………………… (32)

ヤマアカガエルの繁殖活動

下　山　良　平*

1．はじめに

ヤマアカガエル(Rana ornativentris)は、アカガエル科アカガエル属の日本固有種で、本州・四国・九州および佐渡島の山地に広く分布している（前田・松井，1989)。長野県内でも人里の水田から低山帯上部に至るまで広く分布しており、個体数も多い。このようにきわめて普通なカエルであるにもかかわらず、本種の繁殖生態についての詳しい調査はほとんど行われていない（下山，1995)。

筆者は、茅野市米沢の水田で繁殖するヤマアカガエル個体群を対象とし、1992－1993年の２シーズンにわたって繁殖活動を調査した。この小文では1993年に得られた資料をもとに、ヤマアカガエルの性的二型、繁殖行動、繁殖成功度などについて報告する。

本文に先立ち、調査地の水田を使用することを快諾いただき、かつさまざまな面で便宜をはかっていただいた故小出正吾さんならびにご家族の皆さん、調査を手伝ってくれた長男の良大に深く感謝の意を表したい。また、当時諏訪教育会の自然研究部長として温かなご指導を賜った両角源美先生（現茅野市教育長）にも厚く御礼申し上げたい。

2．調査地と調査方法

調査は、茅野市米沢北大塩地籍にある１枚の水田（面積約150㎡、標高約910m、以下調査地と呼ぶ）で行った。調査地一帯は緩やかな傾斜地に棚田状の水田が広がり、ところどころに人家が点在している。調査地では、毎年４月上旬に他の水田に先駆けて水が引かれ、５月半ばの田植えまでの間、水深5-10cmの広大な水面が保たれる。調査地周辺でのヤマアカガエルの繁殖期は、例年４月10日過ぎから４月下旬にかけてである。調査地以外の水田に水が引かれるのが毎年４月25日前後であるので、一帯に生息するヤマアカガエルの大部分は必然的に調査地を産卵場所として利用することになる。

調査は、1993年４月11日から４月29日までの19晩、原則として19時から22時にかけて行った。毎晩、20分おきに調査地を囲む畦道をゆっくり歩いて１周し、ヘッドランプや懐中電灯を使ってヤマアカガエルの発見に努めた。標識がついていない個体を発見した場合、素手で素早く捕獲し、体長（頭胴長）と脛長をノギスで測定した。そして、指切り法および腰バンドの装着（Shimoyama，1993 参照）によって標識をつけた後、直ちに放逐した。標識がついた個体が発見された場合には、特に捕獲は行わず、個体番号と捕獲地点を地図上に記録した。抱接状態のペアを発見した場合には、一部を捕獲してそのまま自宅まで持

＊諏訪市立諏訪西中学校教諭・平成12年度八ヶ岳総合博物館専門委員

ち帰り、水深10cmの大型水槽内で産卵させた。産卵後、雌雄はそれぞれ調査地に放逐した。また、得られた卵塊は、孵化するまでの約10日間室温下に置き、孵化した幼生の数および未受精卵の数を記録した。それぞれの卵塊の全卵数（一腹卵数）のうちの孵化幼生数の割合を受精率と定義した。孵化後の幼生は、記録後にすべて調査地へ放逐した。

3．調査結果と考察

（1）雌雄のサイズの性的二型

調査期間中、ヤマアカガエルの雄156頭、雌23頭を捕獲・識別した。雄については、調査終了の時点で未標識の個体は確認されなかったので、少なくとも調査地周辺に生息する個体の大部分は捕獲・標識できたものと思われる。しかし、雌については、調査地で確認さ

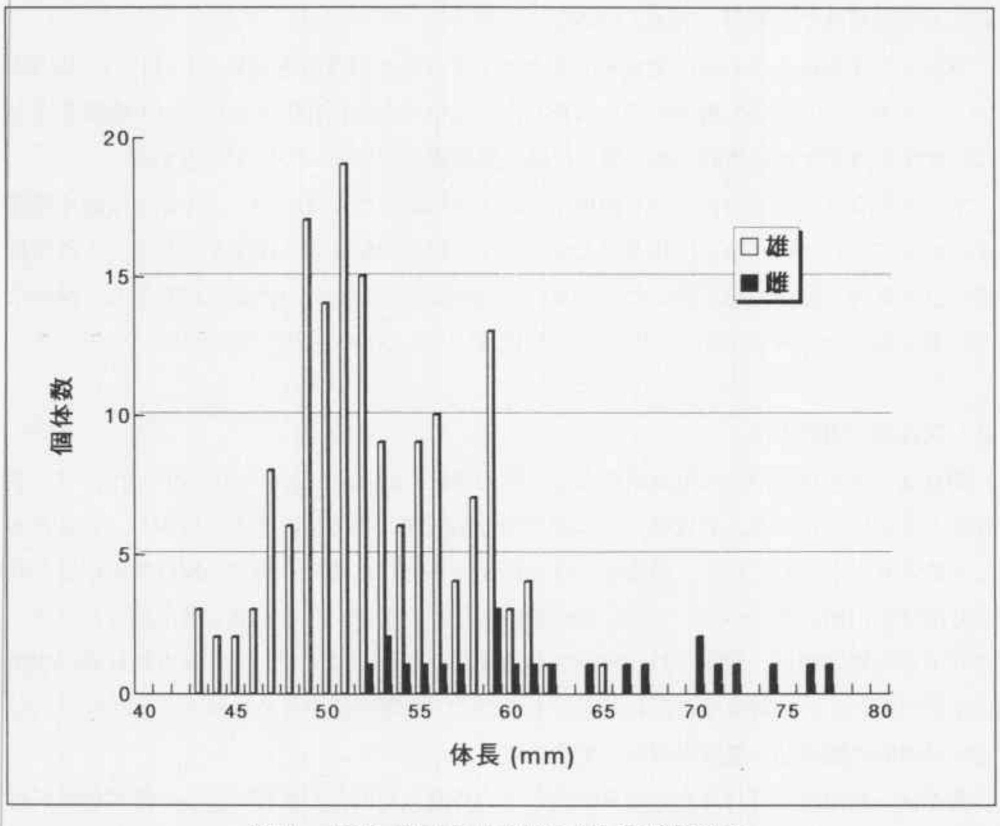

図1．ヤマアカガエル雌雄の体長の頻度分布

れた卵塊の数が、室内で産卵させたものも含めて72であったので、実際に調査地に産卵に訪れた個体の3分の1弱を捕獲したことになる。

雌雄の体長構成を図1に示す。雄は43.0～65.0mm（平均52.7mm、標準誤差0.36）、雌は52.0～77.0mm（平均63.2mm、標準誤差1.64）で、雌は雄よりも約20%大きく（雌/雄比=1.20）、統計的にも有意な差が検出された（U検定、P＜0.001）。このように雌雄間で

は体サイズに顕著な性的二型が見られた。

国内外のカエル類45種56個体群でサイズの性的二型を比較したFukuyama and Kusano (1989)によれば、雌＞雄の性的二型はカエル類では一般的な現象であり、多くの場合、雌／雄のサイズ比は1.0〜1.2の間であるという。本調査でのヤマアカガエルの1.20という数値もその範囲内に入っている。

（２）繁殖行動

1993年の最初の産卵は、４月11日晩に観察された１例である。しかし、その後平年よりもかなり気温が低い日が続いたため、次の産卵が行われたのは４月20日であった。この年の産卵は、大部分がこの４月20日から28日までの９日間に行われたが、特に暖かな降雨のあった晩や気温の高い晩には多数の雌が集中的に現れて産卵を行った。このように短期間に集中的に産卵活動が行われたことから、ヤマアカガエルは典型的な「爆発的繁殖者」（Wells, 1977）であることが分かった。

繁殖期間中、雄は日中は水底の物陰にじっと潜んでいたが、日没後になると姿を現して盛んに繁殖活動を行った。雄の行動パターンはきわめて柔軟で、どの雄も①水面に浮かびながら、かん高い声で盛んに鳴く、②水底で頭を持ち上げて静止する、③近くに現れた他個体に突進して抱きつこうとする、などを頻繁に切り替えた。雄が特定の空間にとどまってなわばりを形成する例は確認されなかった。

雌は、産卵の準備ができた個体だけが調査地内に現れ、出現直後には雄とペアを形成した。雌が現れてからペアを形成するまでの過程は、残念ながら断片的な観察しかできなかった。ペアはあちこち移動を繰り返してから産卵したが、その際、既に産みつけられた卵塊の脇を産卵場所として選ぶ傾向が強かった。産卵そのものに要する時間はきわめて短く、せいぜい１〜２分程度であった。産卵が終了すると雌雄は離れ、雄は再び活発な活動を始めたが、雌はしばらくその場で浮かんでいることが多かった。産卵後の雌が翌日以降に再び発見されることはなかった。

１晩ごとの出現個体の性比（実効性比）は、雌１に対して雄２〜10と大きく雄の側に偏っていた。このことは、雄の間で雌をめぐる激しい競争が起こっていることを示唆するものである。ただし、２ヶ月以上にわたって繁殖活動を行うダルマガエルやトノサマガエル（Shimoyama, 1996参照）と比べれば、実効性比の偏りはかなり小さいと言える。

（３）雌の一腹卵数

室内で産卵させた14頭の雌（体長53.0−77.0mm）の一腹卵数は、735−1960（平均1391.6、標準誤差118.7）であった。一腹卵数は雌の体長と強い順相関があり（$r=0.948, p=0.0001, N=14$）、また大きな雌ほど大きな卵を産む傾向も見られた（ただし統計処理するだけの十分なデータはない）。すなわち、より大きな雌は、より大きな卵をより多く産むことが分かった。両生類では、一般的な傾向として大きな卵からは大きな幼生が孵化し、大きな

幼生ほど捕食される危険が低いため、小さな個体よりも生存率が高い。したがって、調査地のヤマアカガエルの雌では、より多くの子孫を残す上で体サイズは重要な特性であると考えられた。

（4）雄の配偶成功と体長

配偶成功が確認された22頭の雄と雄全体とで、体長および脛長を比較したものが表1である。体長・脛長ともに、配偶雄の平均値は雄全体よりも若干大きいが、その差は統計的には有意ではなかった。このことは、雄にとって体が大きかったり後肢が長かったりしても、必ずしも配偶に成功しやすいわけではないことを示している。したがって、調査地のヤマアカガエルの雄では、雌の場合とは対照的に、体サイズはより多くの子孫を残す上で必ずしも重要な特性ではないと考えられた。

ペアになっている雌雄の体長の間には相関関係はなく（$r=0.200$, $p>0.4$, $N=22$）、また、ペアの雄/雌体長比と受精率との間にも相関関係は認められなかった（$r=-0.365$, $p>0.1$, $N=14$）。このように配偶はランダムに行われていたことから、少なくとも調査地のヤマアカガエルでは、雌が積極的に配偶相手を選り好みしている可能性は低いと考えられた。

	雄全体 (N=156)	配偶雄 (N=22)	U 検定の結果
体長(mm)	52.7±0.357	53.3±0.812	z=0.792（p>0.4）
脛長(mm)	28.0±0.192	28.2±0.464	z=0.563（p>0.5）

表1．　雄全体と配偶雄との比較（平均 ± 標準誤差）

4．おわりに

この小文では、典型的な爆発的繁殖者であるヤマアカガエルの繁殖生態の断片を報告した。本調査は、筆者が茅野市米沢小学校に在職中に行ったものである。毎日の学校勤務が終わった後、疲れた体に鞭打っての調査であったため、データの取り方が必ずしも適切ではない点をお許しいただきたい。この小文が、茅野市に生息する本種の生活史の基礎資料として、少しでもお役に立てれば幸いである。

5．引用文献

Fukuyama, K. and T. Kusano. 1989. Sexual size dimorphism in a Japanese stream-breeding frog, Buergeria buergeri (Rhacophoridae, Amphibia). In: Current Herpetology in East Asia (M. Matsui, T. Hikida and R. C. Goris eds.) pp.306-313. Herpetological Society of Japan (Kyoto).

前田憲男・松井正文. 1989. 日本カエル図鑑. 文一総合出版（東京）.

Shimoyama, R. 1993. Chorus organization and male mating behavior in the Japanese pond frog, Rana porosa brevipoda. J. Ethol. 11: 91-97.

下山良平. 1995. ヤマアカガエルの繁殖成功度. 爬虫両棲類学雑誌16： 68.（講演要旨）

Shimoyama, R. 1996. Sympatric and synchronous breeding by two pond frogs, Rana porosa brevipoda and Rana nigromaculata. Jpn. J. Herpetol. 16: 97-93.

Wells, K. D. 1977. The social behaviour of anuran amphibians. Anim. Behav. 25: 666-693.

茅野市八ヶ岳総合博物館紀要9:7-11(2001)

茅野市内身近な野鳥観察地

両　角　英　晴*

1．はじめに

茅野市は標高760m付近より1,100m前後の耕作地。1,500m以下の低山帯。

車山，八子ヶ峰などの山地草原。1,500m～2,500mの亜高山帯。

2,500m以上の八ヶ岳高山帯などの，各地域ごと又季節ごとに違ったいろいろな鳥たちの生活があります。

博物館説明ボランティアとして，市内の特徴ある3箇所を選び，探鳥会を企画し，市民の方々に身近にある，自然に関心を持っていただきたく計画，実行をしました。

その一方で平成11年12月より観察地として，茅野市神長官守矢史料館西側耕作地より低山帯山林部周辺で，朝７時過ぎより2～30分の出現野鳥のチェックを，月に5～10回程度行い，まとめて見ました。

調査時間が少ないため正式なセンサス等は行いませんでした。

2．探鳥会開催地及び調査地

ア，平成12年 4月23日　午前9時より11時　雨のち晴れ
　茅野市運動公園内
　市街地(標高820m前後)の　渡り前の冬鳥と渡って来たばかりの夏鳥，留鳥

イ，平成12年 5月 3日　午前5時より　7時30分
　茅野市青少年自然の森　竜神池周辺
　耕作地～低山帯(標高1,040mより1,100m)の夏鳥と留鳥

ウ，平成12年12月23日　午前 8時より10時
　市街地より耕作地，低山帯(770mより850m)
　茅野市神長官守矢史料館周辺，下馬沢川横 市道沿線，西沢川沿い，武居畑遺跡

エ，平成11年12月より13年2月まで，
　市街地より耕作地，低山帯(770mより850m)
　茅野市神長官守矢史料館周辺，下馬沢川横 市道沿線，西沢川沿い，武居畑遺跡
年間観察調査

3．調査方法

ア～ウ　探鳥会による観察中に見る，鳴き声を聞くの出現鳥の記録

エ，　　センサス等によらない少観察時間内の　見る，聞くの出現鳥の記録

4．結果及び考察

下記表による

＊日本野鳥の会諏訪支部、博物館自然ボランティア

茅野市八ヶ岳総合博物館探鳥会　観察リスト

平成12年

	開催日	4月23日	5月3日	12月23日
	開催場所	茅野市 運動公園	茅野市 尖石竜神池	茅野、諏訪市 神長官守矢
コードNo	種類名			
5	カイツブリ		○	
95	マガモ		○	
96	カルガモ	○	○	
97	コガモ	○		
131	トビ	○		
162	キジ	○		
318	キジバト	○	○	○
354	アオゲラ	○	○	○
359	アカゲラ	○	○	
362	コゲラ	○	○	
371	ツバメ	○		
374	イワツバメ	○		
378	キセキレイ		○	
380	セグロセキレイ			○
389	サンショウクイ		○	
391	ヒヨドリ	○	○	○
393	モズ	○	○	○
404	カヤクグリ			○
413	ジョウビタキ			○
426	クロツグミ	○	○	
428	アカハラ		○	
433	ツグミ	○		○
438	ウグイス		○	
471	エナガ	○		
474	コガラ	○		
475	ヒガラ	○	○	
476	ヤマガラ		○	
478	シジュウカラ	○	○	○
479	ゴジュウカラ		○	
481	メジロ	○	○	
486	ホオジロ	○	○	○
493	カシラダカ			○
498	ノジコ		○	
499	アオジ		○	○
511	カワラヒワ	○	○	○
521	ベニマシコ			○
525	イカル	○	○	○
526	シメ	○	○	○
529	スズメ	○		○
532	コムクドリ	○	○	
535	ムクドリ	○		○
539	カケス	○	○	
541	オナガ			○
546	ハシボソガラス	○		○
547	ハシブトガラス	○	○	
合計数		29	28	20

鳥類観察リスト

:11年12月より 13年2月まで

コード	種 類 名	1999	2000												2001				確認合計	確認比率
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				
	観察日数	3	9	18	14	12	11	5	6	7	2	2	6	6	6	12			119	
59	ゴイサギ											1	1						2	1.68
66	コサギ													1					1	0.84
96	カルガモ					1	3												4	3.36
131	トビ				5	9	7			1			1						23	19.33
134	オオタカ		2											1					3	2.52
140	ノスリ	1	3	2	2	3	4								3	2			20	16.81
157	チョウゲンボウ											1		1		1			3	2.52
161	ヤマドリ					1													1	0.84
162	キジ				4	6	11	3	1		1	1	3	1	1	6			38	31.93
318	キジバト	3	9	16	12	12	8	5	5	6	1	2	6	6	5	3			99	83.19
322	ジュウイチ						3												3	2.52
324	カッコウ							1											1	0.84
325	ツツドリ						2												2	1.68
326	ホトトギス							1											1	0.84
354	アオゲラ	1	4	5	7	8	4						3	1	4	1			38	31.93
359	アカゲラ	2	4	9	9	3	8	3	3	2	1	2	3	3	3	8			63	52.94
362	コゲラ	1	2	6	12	9	11	4	3	5	1	2	3	1	5	7			72	60.50
371	ツバメ					4	11	5	5	7	1								33	27.73
374	イワツバメ					1	2	3	5	3									14	11.76
378	キセキレイ				6	11	10	3	4	7	2	1	3	2					49	41.18
379	ハクセキレイ			8	3					1				1		1			14	11.76
380	セグロセキレイ			2	1	2					1			3	5	1			15	12.61
389	サンショウクイ					3	8	4											15	12.61
391	ヒヨドリ	3	9	18	14	11	11	5	5	7	2	2	6	6	6	12			117	98.32
393	モズ	2	5	4	7	5	6		5	5	2	2	4	5	1	2			55	46.22
399	ヒレンジャク				2														2	1.68
401	ミソサザイ		3	10	5	3	4				1	1	2	4		2			35	29.41
404	カヤクグリ		1	9	1									2	3	5			21	17.65
410	コルリ						2	1											3	2.52
411	ルリビタキ			4	1											1			6	5.04
413	ジョウビタキ	1	3	7		1						1	5	5	1	3			27	22.69
422	トラツグミ		1	2											3				6	5.04
426	クロツグミ					4	6	1	1										12	10.08

428	アカハラ					2													2	1.68
430	シロハラ		9	16	6	1							2	3	6	6			49	41.18
433	ツグミ	3	8	12	13	8	1						2	5	6	12			70	58.82
437	ヤブサメ					3	9	4	1										17	14.29
438	ウグイス					5	9	5	4	3									26	21.85
455	エゾムシクイ						2	1											3	2.52
456	センダイムシクイ					1	6	4	1										12	10.08
462	キビタキ					1	5	3	2										11	9.24
465	オオルリ					4	4	1	4	1									14	11.76
468	コサメビタキ						2												2	1.68
471	エナガ			9	10	6	4	1	1			1	2	3	2	1			40	33.61
474	コガラ				1	1	1	1		1									5	4.20
475	ヒガラ		1	3	2	5	8	5	1	2									27	22.69
476	ヤマガラ	2	9	17	8	3	4	1		2	1		3	4		9			63	52.94
478	シジュウカラ	3	8	16	14	10	11	5	4	6	2	1	6	6	2	11			105	88.24
479	ゴジュウカラ				1	5	5	3		2			1						17	14.29
481	メジロ	1	1			8	5	1					1						17	14.29
486	ホオジロ	2	9	18	14	12	11	5	5	5	1	2	6	6	6	8			110	92.44
493	カシラダカ	1	9	16	11	4							4	6	5	3			59	49.58
498	ノジコ					1	6	2	1	1									11	9.24
499	アオジ		6	16	7	4	1							6	3	7			50	42.02
510	アトリ		6	14	3										4				27	22.69
511	カワラヒワ	3	8	17	11	8	5	1	2				4	6	6	6			77	64.71
521	ベニマシコ		9	16	7								5	6	6	9			58	48.74
523	ウソ		1													7			8	6.72
525	イカル	2	8	10	13	8	11	3	2	5	1	2	3	5	3	1			77	64.71
526	シメ	1	9	17	14	8	1						1	4	2	4			61	51.26
529	スズメ		3	16	5	5	11	5	5	7	1	1	3	5	6	12			85	71.43
532	コムクドリ								1										1	0.84
535	ムクドリ		3	6	9	8	8	2	5	3			4	6	4	7			65	54.62
539	カケス	2	4	9	13	11	10	3		2		1	5	4	1	4			69	57.98
541	オナガ		4	4					1		1			2		1			13	10.92
546	ハシボソガラス	1	9	16	14	12	11	5	3	2	2	1	5	6	6	10			103	86.55
547	ハシブトガラス	3	6	18	14	8	10	3	3	5	2	2	2		1	5			82	68.91

今回の茅野市内野鳥観察地は季節の鳥も出現し，留鳥も多く見られ，市街地より近い場所にある，手ごろな探鳥地である。

・ アの茅野市運動公園は上川を挟み市街地と隣り合わせで本当に身近な自然が残る場所である。早春の渡り中の鳥も出る観察地である，留鳥ではキツツキ類が3種(アオゲラ，アカゲラ，コゲラ)が繁殖し身近に見ることが出来る。カラ類も(シジュウカラ，コガラ，ヤマガラ，ヒガラ)なども多い。

・ イの茅野市青少年自然の森，竜神池はカイツブリ，マガモなど水辺の鳥をはじめキツツキ類，カラ類，ノジコ，アオジ，ホオジロやイカル，カケスなどがよく見られる。

・ ウ，エ，の茅野市神長官守矢史料館周辺は市街地の鳥や低山帯の鳥が豊富に見られる夏鳥では，ジュウイチ，カッコウ，ツツドリ，ホトトギス，サンショウクイ，クロツグミ，アカハラ，ヤブサメ，エゾムシクイ，センダイムシクイ，キビタキ，オオルリ，コサメビタキノジコなどが出た。

冬鳥，漂鳥では，ヒレンジャク，ジョウビタキ，シロハラ，ツグミ，カシラダカ，アトリ，ベニマシコ，カヤクグリ，ルリビタキ，ウソ，シメなどが出た。

この中でもエゾムシクイ，オオタカなどは貴重な記録である。

5．まとめ

今年は市街地，耕作地，低山帯の記録であったが，茅野市には山地草原，亜高山帯，高山帯や市街地に沿った川(水辺)など多くのよい観察地があり，今後の会場にして行きたい。

小さな探鳥会の積み重ねが，市民に自然への関心を持ってもらうよい機会になる様これからも企画，実施に取り組んで行きます。

茅野市八ヶ岳総合博物館紀要9:13-26(2001)

八ヶ嶽岳麓文芸館調査研究資料目録

小　口　裕　稔*
矢　崎　恵　子**

1．はじめに

茅野市を中心とする八ヶ岳山麓地帯（いわゆる山浦地方）は、男も女も農耕、家事に身を粉にして励んだ地である。そんな中で、古くから文化的雰囲気の育った所でもある。それは、

1）寒さ厳しい農閑期に青年らが三々五々に集まり、歓談したり、自ら学びあったりという進取の気風が強かったこと。

2）俳諧・短歌・文芸・学芸を育む豊かな自然・風土に溢れていたこと等、からである。こんな中から信州はもとより、日本の文学史に名を残した巨星である俳人・歌人・文人がこの地より数多く輩出している事は驚くべき事実であり、その影響を受けた活動が連綿として連なっていることに郷土としての誇りをもつ。

兼ねてより、市民をはじめ議会でも、そのような岳麓に生まれ活躍したり、又、この地にゆかりを持つ方々の大切な文化遺産を市として保存保護していく必要性強く問われ、その拠点となる文芸館の必要性の議論が九年程繰り返されてきた。

又、郷土出身の伊東一夫東洋大学名誉教授が心血を注いで自分で研究された資料の全てを茅野市に委ねたいとの御申し出もあり、ここに気運も一挙に高まり、まず、その一歩として、茅野市八ヶ岳総合博物館の一室に『八ヶ嶽岳麓文芸館』が開設される事となった。平成12年10月13日であった。

2．調査研究資料目録

開館にあたり、文芸担当職員が博物館文芸専門委員６名の御協力のもとに、岳麓にゆかりのある俳諧・短歌等文芸及び学芸の資料を収集調査し研究を行った。

平成12年度末現在の資料目録は次に示す通りである。

*八ヶ嶽岳麓文芸館担当　　**八ヶ嶽岳麓文芸館担当

I. 短歌関係

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1枚	履歴書		25×33
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1枚	入学願		25×33
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	5枚		①島木赤彦	15×11.2
	小尾郊一				②子規忌の日	9.4×13
	小尾郊一				③島木赤彦の真徳寺　裏の家　横	10.5×15.5
	小尾郊一				④　〃	15.5×11
	小尾郊一				⑤塚原先生報恩碑と下古田分教場跡	11×15.5
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1枚	尋五女綴方		25×34
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1冊	職員會		25×34　10枚
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1枚	性格		25×33
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1枚	成績証明書		25×33
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	第2号　理科筆記		13.5×15
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	地理筆記		14.5×13
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	學校家庭懇談會規則		17×25　3枚
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	諸語		17×25
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	児童躾方		17×25　3枚
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	父兄懇談会談話要項		17×25　4枚
島木赤彦	小尾郊一	半紙	2枚	福島少佐		24×16
島木赤彦	小尾郊一	半紙	1枚	保衣扇ヲ賜ル		27×32
島木赤彦	小尾郊一	原稿用紙	1冊	家庭談話　親のしつけ　明治33年　二水		25×33　13枚
島木赤彦	小尾郊一	和綴	1冊	尋常三學年		37枚
両角雉夫	北澤敏郎	連板	1枚	縦板の歌　2首	『赤道を今…』	
両角雉夫	北澤敏郎	ハガキ	3通	①奇書ハガキ同人15名		14.7×10
				②奇書ハガキ文明・浪吉・茂吉		14.7×10
				③ハガキ　赤彦　絵		14.7×10
彌牟庵	北澤敏郎	掛軸　拓本	1幅	彌牟庵の碑文　舟鶴書		182×81
柳沢黙坊	北澤敏郎	掛軸　拓本	1幅	夏		159×71
柳沢黙坊	北澤敏郎	掛軸　拓本	1幅	初冬		159×71
土屋文明	北澤敏郎	原稿用紙	1枚	歌碑	『夕風の渡る野中のぬくみ…』	24×36
森川汀川	北澤敏郎	短冊	1枚		『アルプスは雪の降るらし…』	36×6
岡麓	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
久保田不二子	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
五味保義	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
原田比呂志	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
上条行雄	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
松沢常毅	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
上原吉之助	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
両角雉夫	北澤敏郎	短冊	2枚			36×6
両角福松	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
小平雪人	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
岩本木外	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
両角竹舟郎	北澤敏郎	短冊	1枚			36×6
五味保義	北澤敏郎	色紙	1面	『夕谷に凝りつつ…』		33×33
伊藤左千夫	北澤敏郎	掛軸	1幅	『まぼろしのかゆめか…』		140×39
島木赤彦	北澤敏郎	掛軸	1幅	『足曳乃山の雉夫…』		143×31
斎藤茂吉	北澤敏郎	掛軸	1幅	『一位の實ゆふ日の岡に食にけり』		141×39
高浜虚子	北澤敏郎	掛軸	1幅	『からす瓜赤らみて墓ももるけなり』		138×31
土屋文明	北澤敏郎	掛軸	1幅	『春過ぎてゆくよいふことも…』		210×37
森山汀川	北澤敏郎	掛軸	1幅	『子規左千夫赤彦にまみ江良き友東…』		212×46
両角雉夫	北澤敏郎	掛軸	1幅	木曽行の歌　3首		158×68
島木赤彦	北澤敏郎	掛軸	1幅	雉夫宛書簡		143×70
斎藤茂吉	北澤敏郎	掛軸	1幅	講演会の通知　漫談		114×46
島木赤彦	北澤敏郎	写真	1枚	赤彦の生家		
岩垂今朝吉	北澤敏郎	写真	1枚	赤彦の恩師		
歌会写真	北澤敏郎	写真	1枚	左千夫を迎えての富士見高原での歌会		
島木赤彦	北澤敏郎	写真	1枚	玉川時代の赤彦		
茂吉・憲吉・百	北澤敏郎	写真	1枚	茂吉渡欧送別・憲吉百穂歓迎歌会 大正10年9月3日		
両角雉夫	北澤敏郎	写真	1枚	茂吉・雉夫・汀川・小尾喜作		
島木赤彦	北澤敏郎	写真	1枚			
島木赤彦	北澤敏郎	写真	1枚	亡くなった時の島木赤彦		
島木赤彦	北澤敏郎	写真	1枚	赤彦の葬儀		
斎藤茂吉	笹岡英生	掛軸	1幅	『紀伊のくに大雪取を越るとて二人の友にまもられり』茂吉		120×30
両角雉夫	両角孟	履歴用紙	2枚	履歴書		27×20
両角雉夫	両角孟	インク壺	1	インク壺		直径6
両角雉夫	両角孟	皮袋	1	御賜　皮袋		11×9.5
両角雉夫	両角孟	ノート	1冊	雉夫の歌のノート		20×15
両角雉夫	両角孟	本	1冊	雉夫集	カバー付	20×14
両角雉夫	両角孟	掛軸	1幅	短歌合作軸	雉夫・福松・竹舟郎・黙坊・米平	169×40
両角雉夫	両角孟	掛軸	1幅	漢詩『明石山系』		198×78
両角雉夫	両角孟	額	1面	雉夫肖像画	吉川秀山筆	48×55
島木赤彦	玉川小学校	土瓶	1	島木赤彦愛用の土瓶	木箱入り	直径12.5
島崎藤村	玉川小学校	写真	1面	島崎藤村玉川講演記念写真　大正6年		40×48
島崎藤村	玉川小学校	會誌	1冊	明治三十四年四月職員會誌		24×16
島木赤彦	玉川小学校	原稿用紙	37枚	アララギ第18巻（第10号）		
篠原志都児	篠原淳朗	ノート	1冊	志都児歌集其の壱		20×16

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
篠原志都児	篠原淳朗	ノート	1冊	志都児歌集其の弐		20×16
篠原志都児	篠原淳朗	ノート	1冊	昭和五年四月志都児書簡集		20.5×16
篠原志都児	篠原淳朗	ノート	1冊	昭和五年五月志都児書簡集		20.5×6
篠原志都児	篠原淳朗	和綴	1冊	志都児日記		23×16
篠原志都児	篠原淳朗	和綴	1冊	志都児歌集　全		23×16
斉藤茂吉	篠原圓平	書簡	1面	左千夫の逝去を告げる歌（額入り）		24×32
平福百穂	篠原圓平	ハガキ綴	3冊	篠原圓太宛のハガキ110枚・Ⅱ13枚・Ⅲ13枚		17×12
島木赤彦	篠原圓平	封書	1組	志都児の父・妻の逝去を悼む手紙の封筒		20×8
篠原志都児	篠原圓平	ハガキ	7枚	志都児西国紀行		14×9
両角竹舟郎	篠原圓平	短冊	2枚		（6枚額入り）	36×6
両角福松	篠原圓平	短冊	1枚			
柳沢黙坊	篠原圓平	短冊	1枚			
岩本木外	篠原圓平	短冊	1枚			
森山汀川	篠原圓平	短冊	1枚			
島木赤彦	篠原圓平	短冊	2枚		（2枚額入り）	36×6
篠原志都児	篠原圓平	扇子	2本			
伊藤左千夫	篠原圓平	扇子	1本			
伊藤左千夫	篠原圓平	扇面	1面		（額入り）	23×49
篠原志都児	篠原圓平	写真	1面	志都児32才・志都児20才・左千夫・唯真閣前歌会写真4枚入り		
篠原志都児	篠原圓平	写真	1面	平福百穂画・志都児肖像		27×24
篠原志都児	篠原圓平	歌稿	1面	伊藤左千夫の逝去をむ歌稿　（額入り）		24×32
篠原志都児	篠原圓平	原稿用紙	6枚	『蜂蜜採り』原稿・柳沢黙坊新婚を祝う歌		24×32
柳沢黙坊	篠原圓平	掛軸	1幅	柳沢黙坊宛志都児の封書・志都児絶筆に接して		192×39
伊藤左千夫	篠原圓平	掛軸	1幅	蓼科山歌		163×73
島木赤彦	篠原圓平	掛軸	1幅	志都児征露を励ます中床掛軸	『大君の御馬の前に…』	138×36
島木赤彦	篠原圓平	掛軸	1幅	志都児征露を励ます中床掛軸	『高麗の山もろこしの…』	138×36
両角竹舟郎	篠原圓平	掛軸	1幅	『蕗の葉をすべりし影が芝がある』		200×41.5
両角竹舟郎	篠原圓平	掛軸	1幅	『立科のいくたび雲に失す事よ』		200×41.5
島木赤彦	篠原圓平	ハガキ	5連	篠原圓太宛のハガキ		
篠原志都児	篠原圓平	冊子	1冊	志都児歌集　謄写刷　篠原亮逸編		23×15
篠原志都児	篠原圓平	日記帳	1冊	大正3年家庭日記		21×14
篠原志都児	篠原圓平	冊子	1冊	篠原志都児日記　謄写刷　篠原亮逸編		23×15
篠原志都児	篠原圓平	ノート	1冊	詩の生れ		B5版
篠原志都児	篠原圓平	和綴冊子	1冊	志都児遺構		23×15
篠原志都児	篠原圓平	冊子	1冊	志都児下書帳		23×15
アカネ	篠原圓平	雑誌	8冊	アカネ明治41年2月から9月(1号から8号)		
馬酔木	篠原圓平	雑誌	1冊	馬酔木第4巻		

Ⅱ．俳句関係

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	二十年至らぬ…		140×43
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	木がらしや…		194×51
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	白雨や大龍…		188×45
竹舟郎	上条修一	実物・軸	1	指を吸うこいと…		180×50
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	灯しみて…		131×44
幽外	上条修一	実物・軸	1	日三竿…		202×43
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	弥宜達の…	他４句	198×62
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	居山…　　漢詩		188×36
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	一茶　勤農詩		189×89
小平雪人	上条修一	実物・軸	1	人の世にめでたからるる　　俳句４句		200×70
小平雪人	上条修一	実物・屏風	1	百花譜		48×96
小平雪人	上条修一	実物・短冊	1	12ヶ月連句　短冊額入		47×6
柿の村人	上条修一	実物・軸	1	物思い…		100×26
小平雪人	堀内松行	実物・軸	1	掛川や…	他４句	195×78
小平雪人	小川善弘	実物・軸	1	人造る五色乃土や春の風		200×30
小平雪人	小川善弘	実物・軸	1	古里や別に春ある母の家		110×54
小平雪人	小川善弘	漆喰板	1	紅葉尓ハ誰の…		58×70
小平雪人	小川善弘	漆喰板	1	沈酔の後…		59×30
小平雪人	小川善弘	漆喰板	1	梅の香や黙し…	見開き２枚	60×70
小平雪人	小川善弘	漆喰板	1	拂拭を勤むる朝やほととぎす		67×30
小平雪人	小川善弘	漆喰板	1	…・・春の風（翁の絵）		62×30
小平雪人	小川善弘	色紙額	1	虫干や正倉院の朝月夜		45×40
小平雪人	小川善弘	色紙	2	あやめ草切ると…		27×24
小平雪人	小川善弘			門川や柄杓流るる…		27×24
小平雪人	小川善弘	写真	2	雪人・天香写真	ハガキと共に額入りで１ヶ	
小平雪人	小川善弘	ハガキ	1		〃	
小平雪人	小川善弘	ハガキ綴	1	表16枚・裏16枚　計32枚綴り	ケース入り	16×11
小平雪人	細田正一	短冊綴	1	寸呉尺楚　48枚綴り	ケース入り	21×8
小平雪人	細田正一	俳句綴	1	萃薬欄		24×18
小平雪人	細田正一	扇子	1	俳句一句	要部破損	
小平雪人	細田正一	扇子	1	俳句一句		18×12
小平雪人	細田正一	帳面	1	書画引神		18.5×25
小平雪人	細田正一	帳面	1	楽載帖　阿心庵		
小平雪人	細田正一	帳面	1	俳句書付紙綴　黒ファイル帳　36枚入		
小平雪人	細田正一	電報	2			
小平雪人	細田正一	推薦書	1			
小平雪人	細田正一	墨絵内句一句	3			

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
小平雪人	細田正一	拓本	2			
小平雪人	細田正一	印帳	1			
小平雪人	細田正一	印帖	77	明星集　他（和綴）		B５版
小平雪人	細田正一	句集	18	小冊子（阿心庵句帖・木の実集・抱村遺構		
小平雪人	細田正一			𢈘村17字詩・不能帖・雪人俳詩・渓山帖他）		
小平雪人	細田正一	句集	9	紫の背表紙の句集（夢蝶帖・祝勝句集・汪洋集他）		
小平雪人	小平功	掛軸	1	秀山画　雪人像		111×53
永機	小平功	掛軸	1	雪の間に瀧の丈なし山櫻		189×45
小平雪人	小平功	扇子	5	夏山に吾庵を愛すひかりかな		
小平雪人				初車風や天辺を突く玉芙蓉　他３本		
保科百助	小平功	掛軸	1	五無斎　小平龍谷君偲び悼む		157×42
小平雪人	小平功	詩帖	1	雪人俳詩帳		27×18
鶯湖子	小平功	掛軸	1			195×39
雪渓子	小平功	掛軸	1			179×46
	小平功	掛軸	1			91×72
小平雪人	小平功	掛軸	1	風月養天真		117×53
長尾半平	小平功	掛軸	1	海におぼるるよりも杯に溺るるもの多し		192×42
小平雪人	小平功	掛軸	1	太刀佩いて神の渡るや春の水　他３句		130×68
小平雪人	小平功	掛軸	1	鑑湖		183×67
小平雪人	小平功	掛軸	1	風流を楽しむ花園ならで…		196×62
菅雄	小平功	掛軸	1	真萩ちる秋にてあれども桜色に霞こめたる春のあけぼの		122×66
	小平功	掛軸	1	伊那宮木の神社の拓本		180×42
霜暁	小平功	掛軸	1			113×42
	小平功	掛軸	1	一夜のかり寝の…		204×60
本田種竹	小平功	掛軸	1	月瀬山桜花…		196×48
天龍道人	小平功	掛軸	1	天龍道人の詩稿を雪人が審定したもの		111×65
	小平功	掛軸	1	阿育王山秋丘松月花		178×63
	小平功	掛軸	1			120×52
米山人	小平功	掛軸	1	ろくろの声を聞きながら…		201×70
	小平功	掛軸	1			101×50
菅公	小平功	掛軸	1	一千年祭		185×53
其角	小平功	掛軸	1	西行と武蔵坊には清水かな…		170×33
厚	小平功	掛軸	1	折りあいて最中の秋に…		158×36
法龍悦山	小平功	掛軸	1	松祝馳峰美年の松を頂く		120×70
通斎	小平功	掛軸	1	粋にして然難を究む		190×38
鬼南子	小平功	掛軸	1	鶯は昨日もどりて今日老いぬ		182×42
鎌田竹道	小平功	掛軸	1	独立独尊		178×42
巌谷小波	小平功	掛軸	1	松圃翁筆家銘		178×66

文人名	所有者名	資料形状	数量	資料名	内容	計測
永　機	小平　功	掛軸	1	夜や秋や思いまどわで月一つ		89×72
山田寒山	小平　功	掛軸	1			100×61
中沢道二	小平　功	掛軸	1	道あるべきやう		100×50
黙鳳道人	小平　功	掛軸	1	下獻南山壽		196×24
	小平　功	掛軸	1	達磨　絵		174×47
山田寒山	小平　功	掛軸	1	天龍道人の詩　　13神の図		174×52
小平雪人	小平　功	写真	8	雪人一族写真　他7点		
小平雪人	小平　功	新聞	1	小平たよさん（雪人母）の記事		
小平雪人	小平　功	硯	1	雪人愛用の硯箱		29×26
小平雪人	小平　功	短冊	6箱	押板入り15枚・重複したもの紙箱57枚・箱入り夏の部54枚 箱入り秋の部24枚入り・新春春の部79枚・冬の部24枚		37×6
小平雪人	小平　功	扇面	3面	白雨や大龍現ず諏訪の湖		
小平雪人	小平　功	色紙	13枚	露けしや馬失いし人に逢う		27×24
原　天明	原　充	掛軸	10幅	白樺の径風鈴のいづこより		
原　天明	原　充	書籍	3冊	昭和俳句八部集　上下・地名俳句歳時記		

Ⅲ．伊東文庫所蔵島崎藤村資料　その１

文人名	資料形状	数量	資料名	内容	計測（本紙）
島崎藤村	掛軸	1	『千曲川旅情のうた』		181×41(128×30)
島崎藤村	掛軸	1	『千曲川旅情のうた』		84×45(24×35)
島崎藤村	掛軸	1	『千曲川旅情のうた』		100×23(43×16)
島崎藤村	掛軸	1	『草枕』		162×38(101×28)
島崎藤村	掛軸	1	『潮音』		71×24(20×16)
島崎藤村	掛軸	1	『きりぎりす』		112×33(44×16)
島崎藤村	掛軸	1	明治学院校歌		110×41(45×30)
島崎藤村	掛軸	1	『夕陽』の漢詩		87×45(22×34)
島崎藤村	掛軸	1	『夜明け前』		86×29(35×21)
島崎静子	掛軸	1	明月		94×44(22×33)
島崎藤村	掛軸	1	壽翁遺跡碑文　拓本	函館	146×71(80×58)
島崎藤村	掛軸	1	『破戒』		146×53(83×39)
島崎藤村	掛軸	1	合本藤村詩集の序	木曽中	70×58(15×49)
島崎藤村	掛軸	1	過し世をしつかにおもへ百年もきのふの如し　上州拓本		174×56(81×43)
島崎藤村	掛軸	1	蓮月不染乃墓　拓本		180×44
島崎藤村	掛軸	1	『草枕』		92×31(24×22)
鷹野つぎ	掛軸	1	辞世　の句		93×32(25×23)
竹久夢二	掛軸	1	『まてどくらせど…』　『湯桶なる山ふところの…』２句		107×32(52×23)
松尾芭蕉	掛軸	1	『送られつ…』	木曽路の句	
島崎静子	掛軸	1	明月		94×44(22×33)
島崎藤村	掛軸	1	奈良公園の萬葉歌　　拓本		123×58(42×45)
島崎藤村	掛軸	1	明月		89×52(29.5×39)
島崎こま子	掛軸	1	千曲川旅情のうた一部の筆		75×32.5(33.8×24)
島崎藤村	掛軸	1	千曲川旅情のうた	小諸市立記念所蔵	66×52.5(44.5×14.5)
島崎藤村	掛軸	1	ブラジルサンパウロに遺る藤村自筆の古歌　拓本		124.5×144(70×131)
島崎藤村	掛軸	1	門下中島芳子のノートに記したボードーレールの悲しみの言葉		167×28.5(115×19)

Ⅲ. 伊東文庫所蔵島崎藤村関連資料　その２

資　料　名	資料形状	数　量
静の岩屋　（上・下）	書　籍	2　冊
新撰賛美歌	〃	1　冊
楚因之詩	〃	1　冊
北村透谷全集	〃	1　冊
みだれ髪	〃	1　冊
蓬莱曲	〃	1　冊
エロイーズとアベラール　（原書）	〃	1　冊
懺悔録　ルソー	〃	1　冊
信濃歌選	〃	1　冊
恋愛と結婚　エレン・ケイとその表紙	〃	1冊と1枚
悲しき配分　鷹野つぎ著	〃	1　冊
藤村の思い出　島崎静子著	〃	1　冊
ひとすじのみち　島崎静子著	〃	1　冊
藤村コレクション　全4冊	〃	4　冊
女学雑誌	〃	1　冊
文学界	〃	1　冊
評　論	〃	1　冊
芙蓉峰	〃	1　冊
島崎藤村研究	〃	1　冊
信　州	〃	1　冊
月　明	〃	1　冊
處女地　大正11年・大正12年　（静子愛用の箱）	〃	2　冊
英語訳本　Before The Dawn	〃	1　冊
フランス語訳本　La TRANSGRESSION	〃	1　冊
フランス語訳本　Une Famille	〃	1　冊
伊東氏記解釈コピー	〃	1　枚
雪風　（リーフレット）	〃	1　枚
島崎藤村事典　（リーフレット）	〃	1　枚
画　集　ミレー	〃	1　冊
画　集　ドラクロア	〃	1　冊
画　集　エル＝グレコ	〃	1　冊
画　集　セザンヌ	〃	1　冊
エル＝グレコ　複製画	〃	1　枚
伸び仕度	〃	1　冊
三　人	〃	1　冊
ある女の一生涯	〃	1　冊
若菜集	〃	1　冊
一葉集	〃	1　冊
なつくさ	〃	1　冊
落梅集	〃	1　冊
藤村詩集	〃	1　冊
愛の歌	書　籍	1　冊
明治詩集	〃	1　冊
藤村詩抄	〃	1　冊

資　料　名	資料形状	数　量
藤村読本　第6巻	〃	1　冊
ふるさと	〃	1　冊
藤村少年読本　尋四の巻	〃	1　冊
日本どうわ集　（一年生の名作絵本）	〃	1　冊
藤村女子読本　5巻	〃	1　冊
ひらがな童話集	〃	1　冊
島崎藤村　第1編　お房	〃	1　冊
○緑陰業書　破戒	〃	1　冊
春	〃	1　冊
家　（上・下）	〃	2　冊
微風	〃	1　冊
海　へ	〃	1　冊
夜明け前　第1部	〃	1　冊
中央公論　明治44年新年号	〃	1　冊
中央公論　明治18年新年号	〃	1　冊
中央公論　明治18年10月号	〃	1　冊
藤村原稿（複写）・春を待ちつつ	原稿用紙	6　枚
・新生	〃	6　枚
・桜の実の熟する時	〃	6　枚
・夜明け前（原稿5枚本の表紙1枚）	〃	6　枚
・東方の門（原稿3枚雑誌表紙複写2枚）	〃	5　枚
・仏蘭西だより	〃	5　枚
・黄昏	〃	2　枚
・故國を見るまで	〃	5　枚
・玉あられ	〃	2　枚
・巡礼	〃	4　枚
・春	〃	1　枚
・破戒（伊東文庫所蔵複製小コピー）	〃	1　枚
小諸女子学校舎卒業式写真　（明治36年撮影）	写　真	1　枚
竹久夢二宛の木曽路図絵　（複写）	半　紙	1　枚
竹久夢二　挿絵の色紙	色　紙	1　枚
簡素　拓本複写	半　紙	1　枚
簡素　複写色紙	色　紙	1　枚
藤村の伊東一夫宛の箴言　額入り	色紙額	1　面
不染　色紙	色　紙	1　枚
木曽5木御短冊	木短冊	1　包
○藤村書簡　（複写）		
・パリから兄広助に宛てた藤村の書簡　封筒と手紙（複写）	複写紙	1　組
・「破戒」完成の喜びがそのまま記されている手紙（複写）	複写紙	1　枚
・馬篭に住む（故）原一平氏宛ハガキ（表と裏複写）	複写紙	1　枚
・フランスのパリとリモージュからのハガキ（複写）	複写紙	1　枚
・「破戒」完成の喜びがそのまま記されている手紙（複写）	複写紙	1　枚
・「うらわか草」西花餘香（本の取り外し5枚）	書籍の一部	5　枚
及び伊東氏による説明文表紙・目次のコピー	複写紙	1　枚
藤村原稿　「嵐」　（複写）	原稿用紙	3　枚
藤村原稿　「東方の門」絶筆　（複写）	原稿用紙	3　枚

文芸館内閲覧書籍一覧

寄 贈 雑 誌 名	巻　　　　　数	著作名（短歌会）
一　路	1996. 3月号　第６８巻　第3号	一路会
一　路	1996. 4月号　第６８巻　第4号	一路会
一　路	1995. 9月号　第６７巻　第9号	一路会
短歌新潮	第４２巻　第5号	短歌新潮社
潮　音	第８２巻　第４号	潮音社
水　甕	第８３巻5号	水甕社
歌と観照	第６６巻　第４月号	歌と観照社
歌と観照	第６６巻　第１月号	歌と観照社
をだまき	第７４巻　第９号	をだまき社
をだまき	第７４巻　第６号	をだまき社
をだまき	第７５巻　第３号	をだまき社
をだまき	第７５巻　第４号	をだまき社
まひる野	１９９６.3月号	まるひ野会
コスモス	第４４巻　第５号	コスモス短歌会
新短歌	第４８巻　４月号	新短歌会
群　緑	第８巻　　第４号	群緑短歌会
白　珠	第５１巻　第４号	白珠社
あすなろ	第９１巻　ＶＯＬ２４	あすなろ社
立　春	５３４号　４月号	立春短歌会
立　春	５３５号　５月号	立春短歌会
あさかげ	第４３巻　第４号	あさかげ短歌会
あさかけ	第４３巻　第１号	あさかげ短歌会
白　路	第５１巻　第４号	白路社
白　路	第５１巻　第５号	白路社
新　月	第５３巻　第４号	新月短歌会
原始林	第５１巻　第４号	原始林社
新　懇	第６６巻　第４号	新墾社
やまなみ	第５９巻　第１号	やまなみ短歌会
やまなみ	第５８巻　第１１号	やまなみ短歌会
やまなみ	第５９巻　第４号	やまなみ短歌会
北方歌人	平成８年３月号	北方歌人会
創　作	第８３巻　第４号	創作者
あふち	第５１巻　第２号	あふち短歌会
関西アララギ	第５１巻　第３号	関西アララギ発行所
関西アララギ	第５１巻　第４号	関西アララギ発行所
青　垣	第６９巻　第４号	青垣会
アララギ	第８９巻　第４号	アララギ発行所
橄　攬	第７５巻　第５号	橄攬社

寄贈雑誌名	巻　　数	著作名（短歌会）
白　桃	第３８号　　冬	白桃短歌会
白　桃	第３９巻　　春	白桃短歌会
群　山	第５１巻　第５号	東北アララギ会
ポトナム	第７３巻　４月号	ポトナム短歌会
花　實	第５６巻　第５号	花実短歌会
國民文學	第８３巻　第４号	国民文学社
にしき江	第８３巻　第４号	錦江社
遠つびと	第５９号　第４号	遠つびと短歌会同人
くぐひ	２月号　通巻６０７号	くぐひ社
くぐひ	３月号　通巻６０８号	くぐひ社
くぐひ	４月号　通巻６０９号	くぐひ社
長崎歌人会報	ＮＯ５８	長崎歌人会
長崎歌集	第８集	長崎歌人会
歌集　振子の光	一路業書　第３０２篇	棚田浩一郎
歌集　越え来し季節	一路業書　第３００篇	棚田浩一郎
白　路	第５１巻　第８号	白路社
白　路	第５１巻　第７号	白路社
未来山脈	１９９６．７　ＮＯ８５	未来山脈社
創　生	第４４巻　第５号	創生短歌会
山の辺	第２６巻　第６号	山の辺短歌会
山の辺	第２７巻　第６号	山の辺短歌会
山の辺	第２７巻　第７号	山の辺短歌会
人間正岡子規	（両角源美教育長寄贈）	和田茂樹
ヒムロ	１９９５・第１号	ヒムロ社
ヒムロ	１９９８・第１号	ヒムロ社
ヒムロ	１９９８・第２号	ヒムロ社
ヒムロ	１９９８・第３号	ヒムロ社
ヒムロ	１９９６・第９号	ヒムロ社
ヒムロ	１９９６・第１０号	ヒムロ社
ヒムロ	２０００・第１１号	ヒムロ社
ヒムロ	２０００・第１２号	ヒムロ社
ヒムロ	２００１・第１号	ヒムロ社
ヒムロ	２００１・第２号	ヒムロ社
ヒムロ	２００１・第３号	ヒムロ社
アララギ	４月号　第８９巻　第４号	アララギ発行所

寄贈一覧　平成12年～

寄贈年月日	寄贈者名(敬称略)	寄贈種目	数量	内容
2000. 5.11	北澤敏郎	書籍	9冊	伊藤左千夫全集　全巻（1～9巻）
2000. 7.18	小平　功	書籍	1冊	『小平雪人』　小平　鼎編
2000. 7.25	篠原圓平	書籍	1冊	歌集『寂蓼』志都児遺稿集
2000. 8.12	北澤敏郎	書籍	1冊	歌集『ぎょ柳の庭』　北澤敏郎著
			1冊	歌集『紫山集』　北澤敏郎著
			1冊	『草に木に』　北澤敏郎著
			1冊	『評伝歌人森山汀川』北澤敏郎著
			19冊	斎藤茂吉選集　全19巻
			4冊	土田耕平著作集　全4巻
			20冊	萬葉集　注釋　全20巻
2000.9.26	北澤敏郎	書籍	3冊	五味智英　萬葉集講義　第1巻～第3巻
			3冊	現代語訳対照　万葉集　(上)(中)(下)
			2冊	万葉秀歌　上下巻　斎藤茂吉著
			1冊	子規歌集　土屋文明著
			1冊	土屋文明歌集　土屋文明自選
2000. 9.26	小野　徐	短冊	23点	
2000. 9.26	原　天明	連板	10点	『馬の尾に触れて野菊の花揺ぐ』雪人選　他9点
2000. 9.26	原　天明	書籍	8冊	句集『羽音』1冊・句集『山嶽』1冊・句集『尖石』1冊・句集『あゆみ』3冊 俳句歳時記　1冊・毎日俳壇入選記録　1冊
2000.10.13	笹岡英生	書籍	10冊	赤彦全集　第1巻～第9巻・別巻
2000.11. 2	両角和美	掛軸	1幅	『たまさかに雪のまひ来る軒下に肉まだぬくき雉子を裂けり』七美男
2000.11.15	北澤敏郎	書籍	3冊	『歌人　森山汀川』北澤敏郎著・『歌人　土屋文明』土屋文明記念文学館編 『都雅の歌人　岡　麓伝』中嶋真二著
2000.12. 3	藤森里美	書籍	17冊	『年月の遠近法』『空草』『夢ひらく日』『御神渡り』『海峡を越えて』『抒情の世界』 『花花ありがとう』『PARNASSUS　OF　WORLD　POERT』『故郷への道』
2000. 1.19	笹岡英生	掛軸	1幅	『野は今は白雲のむれの片寄りにふきよせられし夕光かな』赤比古
2001. 2.22	柳沢広智加	書籍	1冊	柳沢黙坊遺歌集『耕転餘感』
2001. 2.22	矢崎利彦	書籍	1冊	作家若杉慧氏論文『左千夫蓼科の歌』
2001. 2.22	堀内一彦	書籍	1冊	堀内皆作歌集『夏澤峠』
2001. 2.22	伊藤ゆき江	書籍	1冊	上原吉之助歌集『扇状地』
2001. 2.22	両角亮一	書籍	1冊	両角福松遺歌集『柳門集』
2001. 2.22	茅野さかゑ	短冊	1点	加藤淘綾（短歌）短冊
2001. 2.22	北澤敏郎	書籍	1冊	正岡子規全歌集　竹乃里歌

3. 今後の資料研究と願い

今回の開館に当っては、まず、学麓文芸の主流ともいえる人々の資料の展示紹介を主とした。脈々と流れ、今に続く人々に受け継がれている事実を大切にしたいと考えたからである。今後は、全国的にそう著名と言えなくても、地域に根ざした優れた歌人、俳人、文人であり、多くの影響を残し続けている人々の作品・活動を紹介していきたい。さらに、現在活躍（活動）中の方々の作品等広く受け入れていきたい。

一般市民からの情報提供を受けての資料の所在・保存の状態、それらの扱いのあり方に検討を重ね、影響を受けた種々の活動の様子の調査活動を行いたい。

そして、将来的な独立館開館に向け、岳麓文芸館が茅野市及び諏訪地方文化の一つの根を張った拠点となるようにしたい。

そのためには、文芸館を自愛し、常に研究的な目をもって「どうしたら愛されるか、一般に広められるか」など柔軟な発想と思考を持ち続けたいと自らに問うている。

平成11年度 茅野市八ヶ岳総合博物館事業報告

1．企 画 展

① 姉妹都市交流の「ロングモント茅野展」

・場　所　米国コロラド州ロングモント市歴史博物館

・会　期　7月24日～10月2日の71日間行う

・展　示　写真パネル30枚（228枚）、剥製9点、祝儀品（現在・昔）、昔の仕事道具・支度、昔の生活用品、地場産業品等

・茅野市の自然　・茅野市の歴史　・現在の茅野市
（公共機関、文化施設、体育施設、学校生活、医療機関）

・産業（農業、工業、地場産業等）

・人々の生活（現在の生活、昔の生活、児童、生徒の作品）

・実演→機織、子どもの遊び、お茶会

② 参加者　市長、教育長、博物館職員3名

2．写真展 「野山に生きる昆虫たち」

7月17日(土)～8月28日(土)　八ヶ岳を中心とした昆虫写真40枚とコンピューターによるスライドショー200枚。

アマチュアカメラマン　酒井　雅秀氏

会期中入館者　6,957名

3．第11回研究・創意工夫展

（市内小中学生の工作・絵画・研究作品を展示）

10月24日(日)～11月21日(日)

参加学校	小学校	9校	総作品	241点	個人作品	217点
	中学校	2校	研究	78点	グループ作品	1点
			工作	140点	家族作品	23点
			絵画	23点	総参加人数	266名

審査会　10月23日　学校長・博物館専門委員で入賞8作品（工作、絵画の部、研究の部）市長賞．教育委員会賞．博物館長賞．審査員特別賞を決めた。

表彰式　11月21日　於　博物館講堂

●工作・絵画部門受賞者

茅野市長賞　玉川小3年　久保田夏実「おし花で作った絵本」

教育委員会賞　永明小6年　岩井　雄希「人類に存在しないきょう竜」

博物館長賞　豊平小2年　永田宏太朗「カブトムシ」
審査員特別賞　宮川小6年　篠原　義郎「五重の塔」

●研究部門受賞者

茅野市長賞　湖東小2年　小平　朋哉「かいこのけんきゅう」
教育委員会賞　永明小6年　西沢　文博「空気を守る木の働き」
博物館長賞　東部中1年　松沢　光矩「太陽光発電で作られた電気の量」
審査員特別賞　北山小6年　長谷川　誠「あなたはお父さん似？お母さん似？」

会期中入館者　1,557名

4．姉妹都市「ロングモント茅野展」　12月4日(土)～12月23日(木)

ロングモント博物館で展示した展示品を市民の方々に見ていただくため開催。

会期中入館者　227名

5．ふるさと講座

① 守屋山の化石・動植物観察調査会　参加者　16名
5月23日(日)　講師：守屋益雄氏・小池博物館館長

② 車山樹叢調査会　参加者　8名
6月20日(日)　講師：両角教育長

③ 北八ヶ岳湖沼調査会（山岳の湖、沼、植物、動物）　参加者　6名
8月22日(日)　講師：両角教育長・大谷文化財課指導主事

④ 地場産業（寒天工場）の見学、試作
1月30日(日)　講師：地紙世商店株式会社金沢工場工場長・博物館学芸員

6．古文書相談会（第3土・日に6回開催）神長官守矢史料館と共催　参加者　18名

古文書学習を進めるうえで生じた疑問を等を相談する。

5月16日(日)　6月20日(日)　7月18日(日)
9月18日(土)　10月17日(日)　11月20日(日)

講師：細田　貴助(元神長官守矢史料館長)

7．古文書解読講座(1月～3月　全8回講座)神長官守矢史料館と共催

市内に伝わる古文書の解読を行う。　参加者　50名

1月16日(日)　1月23日(日)　1月29日(土)
2月 6日(日)　2月13日(日)　2月19日(土)
2月27日(日)　3月 5日(日)

講師：細田　貴助（元神長官守矢史料館長)

8. 博物館活用指定学級　　19学級　599名参加

「遊学教室」……市内小学校の１学級に博物館や野外現地に来てもらい、半日の日程で体験学習を行う。

6月11日(金)　金沢小学校　6学年　33名
「火おこし体験」　講師：正木美香　(博物館学芸員)

7月 1日(木)　湖東小学校　6学年　35名
「土器作り」　講師：正木美香　(博物館学芸員)

7月 2日(金)　豊平小学校　2学年　44名
「牛乳パックで紙すき」　講師：正木美香　(博物館学芸員)

7月 7日(水)　玉川小学校　2年1組　31名
「牛乳パックで紙すき」　講師：正木美香　(博物館学芸員)

8月25日(水)　米沢小学校　6年1組・2組　77名
「遺跡の発掘体験」　講師：柳川英司　(文化財課学芸員)

9月21日(火)　豊平小学校　6学年　40名
「火おこし体験」(雨天)　講師：正木美香　(博物館学芸員)

9月22日(水)　泉野小学校　6学年　31名
「火おこし体験」(雨天)　講師：正木美香　(博物館学芸員)

11月10日(水)　金沢小学校　2学年　25名
「豆腐作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

11月12日(金)　玉川小学校　2年2組　31名
「豆腐作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

11月17日(水)　玉川小学校　2年3組　31名
「豆腐作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

11月18日(木)　玉川小学校　2年4組　30名
「豆腐作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

12月22日(水)　北山小学校　3年1組　40名
「天草からところてん作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

1月19日(水)　宮川小学校　3年1組　37名
「天草からところてん作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

1月20日(木)　宮川小学校　3年2組　36名
「天草からところてん作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

1月21日(金)　宮川小学校　3年3組　33名
「天草からところてん作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

1月27日(木)　米沢小学校　3年1組・2組　45名
「天草からところてん作り」　講師：松沢かね　(博物館学芸員補)

9．博物館小講演会　参加者　165名

①　4月18日(日)
「茅野の小字名について」　講師：大久保千鶴子先生（郷土史研究家）

②　6月 6日(日)
「八ヶ岳の植物について」　講師：今井　建樹先生（植物研究家）

③　9月19日(日)
「昆虫の世界」　講師：倉田　稔先生（大町山岳博物館学芸員）

④　2月20日(日)
「八ヶ岳の火山」　講師：北澤　和男先生（岡谷市教育長）

10. 博物館ボランティア活動

博物館ボランティア講座の開講　参加者　35名

各専門分野に別れて学習を行い、実践的にボランティア活動を行う。

・開講式　4月18日

・小講演会の聴講　4月18日・6月 6日・9月19日・2月20日

・専門分野ごとの学習

茅野市の民話・昔話の収集、研究

山浦方面（地区）の聞き取り調査等を行い、「山浦の語べ」第2号を編集。

・観察・調査学習

5月23日　守屋山の自然観察会（化石・植物・動物）

8月22日　北八ヶ岳湖沼調査会（湖沼・植物・動物）

・実践的な活動

遊学教室への協力

企画展展示への協力（特に姉妹都市米国ロングモント茅野展）

小中学生博物館の日への協力

・閉校式　2月20日

11. ロビー体験コーナー　参加者　144名　於 博物館

4月11日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
5月16日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
5月30日(日)	紙すき	指導：正木美香	(博物館学芸員)
6月12日(日)	火おこし	指導：小池春夫	(博物館長)
6月27日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
7月 4日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)

9月 5日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
9月26日(日)	拓本作り	指導：篠原敬博	(博物館協議会委員)
10月 3日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
10月31日(日)	つる細工	指導：両角源美	(茅野市教育長)
11月 7日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
11月14日(日)	まゆ人形作り	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
11月28日(日)	小鳥の餌台作り	指導：小池春夫	(博物館長)
12月 5日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
12月19日(日)	クリスマスツリー	指導：小林美智子	(宮川東向ヶ丘)
12月23日(木)	しめ飾り作り	指導：平沢忠由	(泉野下槻木)
1月23日(日)	ふくろう作り	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
2月 6日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)
2月27日(日)	藁ぞうり作り	指導：渡辺正晴	(米沢北大塩)
3月 5日(日)	はたおり	指導：松沢かね	(博物館学芸員補)

12. 観望会

北部生涯学習センターで実施

4月13日(火)	スバル星雲を見よう	悪天候のため中止
5月19日(水)	春の星座観察	悪天候のため中止
6月18日(金)	冥王星を見よう	悪天候のため中止
7月28日(水)	海王星を見よう	悪天候のため中止
8月10日(火)	白鳥座流星群とスターウォッチング	悪天候のため中止
9月18日(土)	半影月食を見よう	悪天候のため中止
10月10日(日)	秋の星座を見よう	
11月17日(水)	しし座流星群観察	
12月 8日(水)	冬の星座を見よう	
1月28日(金)	全国一斉スターウォッチング	
2月11日(金)	春の星座観察と講演「南天星空観測と重力レンズ」について 講師　大西　浩次氏（長野工業高等専門学校教授）	

平成12年度 茅野市八ヶ岳総合博物館事業報告

1．常設展示

(1) 八ヶ嶽岳麓文芸館の新設

入館者（10月13日～1月31日）2,646名

① オープン　10月13日

② 名　　称　八ヶ嶽岳麓文芸館

③ 場　　所　八ヶ岳総合博物館第2展示室（八ヶ嶽岳麓文芸館）

④ 展示内容　短歌ー伊藤左千夫、島木赤彦、土田耕平、篠原志都児、両角雉夫とその門下生

俳句ー小平雪人、両角竹舟郎とその門下生

小説・詩ー島崎藤村

掛軸、短冊、句集、葉書、写真、漆喰板等 230点展示

⑤ 文芸館開館講演

・10月14日（土）藤村、岳麓文芸館について
　伊藤一夫先生　　聴講者　26名

・11月18日（土）岳麓短歌（ヒムロ）
　北沢敏郎先生　　聴講者　49名

・11月25日（土）矢崎虎夫と私（現在の俳句）
　原　天明先生　　聴講者　41名

・12月 2日（土）歌人、俳人の書
　北沢平八郎先生　　聴講者　17名

・12月 9日（土）いろり影絵とお話会（影絵・民話等）
　博物館職員、読りーむinちの　聴講者　21名

2．企画展

(1) 写真展　「行雲流水～八ヶ岳・霧ヶ峰の四季について～」　入館者 2,228名

① 場　所　八ヶ岳総合博物館

② 期　間　7月29日（土）～8月27日（日）

③ 内　容　・八ヶ岳・霧ヶ峰の四季をテーマに自然の美しさと生物の生命感を推考できる写真展。

動物、自然のパネル写真80点展示

フリーカメラマン　　岡村　康氏

・8月1日（火）「撮影とプリント」

講師:フリーカメラマン岡村康氏とエプソン販売

・デジタルカメラの写し方とカラープリント体験を行った。
(受講者12名)

(2) 民俗資料展　テーマ「郷土の職人〜技と道具〜」　入館者520名

① 場　所　八ヶ岳総合博物館

② 会　期　12月9日（土）〜1月7日（日）

③ 内　容　・博物館の収蔵品をもとに、いまではもう見られなくなった職人達を紹介した。　・住まいの道具（木挽き、大工、畳づくり）　・暮らしの道具（桶、提灯、曲げ物－蒸籠・篩、竹細工、漆細工）・染め・織り・はきもの・生産道具（鍛冶屋一諏訪鋸・金靴屋、炭焼き、寒天、氷餅、凍り豆腐、わら細工）、祭りと信仰（どぶろく祭、金山講一鋸）

④ 実　演　・12月10日（日）おんべ作り　広瀬勝也氏
・12月17日（日）表装　篠原敬博氏
・ 1月 6日（土）ねこ編み　渡辺正晴氏

(3) 研究・創意工夫展　入館者　1,030名

市内小中学生の工作・絵画・研究作品を展示

10月22日（日）〜11月12日（日）

参加学校…小学校9校
中学校2校

総作品数………202点　研究…… 84点
工作……102点
絵画…… 16点

個人作品………192点　グループ作品……　2点

家族作品………　8点　総参加人数………213人

工作・絵画の部、研究の部の２部門に別れて各茅野市長賞、教育委員会賞、博物館長賞、審査員特別賞を決めた。

●工作・絵画部門受賞者

茅野市長賞	豊平小５年	木川　　海	「森の星座」
教育委員会賞	金沢小１年	西澤　明夏	「ひまわりはなび」
博物館長賞	豊平小４年	菊屋　悠真	「幻の深海魚」
審査員特別賞	米沢小４年	小林　　巧	「闇にひそむ八頭の竜」
	豊平小２年	柳平　優希	「ゆらゆらユーフォー」

●研究部門受賞者

茅野市長賞　東部中1年　両角　政宣「蚕の研究　Part2」
教育委員会賞　宮川小4年　宇佐見雄輝「アリの研究」
博物館長賞　湖東小4年　小平　義之「日の出・日の入りのかんさつ」
審査員特別賞　米沢小6年　樋口　幸奈「バリアフリーのやさしい町へ」

3．博物館活用指定学級（遊学教室）　6月～1月

市内小学校1学級に博物館や野外現地に来てもらい、半日の日程で体験学習を希望に合わせて実施した。

博物館活用指定学級　24学級　670名参加

6月15日（木）　金沢小学校　6学年　19名
「火おこし体験」　講師：正木美香（博物館学芸員）
6月16日（金）　永明小学校　6年1組　36名
「土器作り」　講師：正木美香（博物館学芸員）
6月22日（木）　永明小学校　6年2組　34名
「火おこし体験」　講師：正木美香（博物館学芸員）
6月23日（金）　永明小学校　6年3組　37名
「土器作り」　講師：正木美香（博物館学芸員）
6月29日（木）　湖東小学校　6年1·2組　45名
「土器作り」　講師：正木美香（博物館学芸員）
7月 6日（木）　米沢小学校　2年1·2組　47名
「牛乳パックで紙すき」講師：正木美香（博物館学芸員）
7月12日（水）　金沢小学校　2学年　24名
「牛乳パックで紙すき」講師：正木美香（博物館学芸員）
7月13日（木）　豊平小学校　2年1·2組　44名
「牛乳パックで紙すき」講師：正木美香（博物館学芸員）
7月14日（金）　泉野小学校　2学年　31名
「牛乳パックで紙すき」講師：正木美香（博物館学芸員）
9月20日（水）　豊平小学校　6年1·2組　42名
「遺跡の発掘体験」　講師：百瀬一郎（文化財課学芸員）
10月31日（火）　玉川小学校　2年1組　33名
「豆腐作り」　講師：松沢かね（博物館学芸員補）
11月 2日（木）　玉川小学校　2年2組　31名
「豆腐作り」　講師：松沢かね（博物館学芸員補）
11月21日（火）　玉川小学校　2年3組　33名
「豆腐作り」　講師：松沢かね（博物館学芸員補）

11月22日（水）　北山小学校　2年1組　30名
「豆腐作り」　講師：松沢かね（博物館学芸員補）
12月20日（水）　北山小学校　3年1組　33名
「天草からところてん」講師：松沢かね（博物館学芸員補）
1月17日（水）　宮川小学校　3年1組　35名
「天草からところてん」講師：松沢かね（博物館学芸員補）
1月18日（木）　宮川小学校　3年2組　36名
「天草からところてん」講師：松沢かね（博物館学芸員補）
1月19日（金）　宮川小学校　3年3組　36名
「天草からところてん」講師：松沢かね（博物館学芸員補）
1月24日（水）　米沢小学校　3年1組　44名
「天草からところてん」講師：松沢かね（博物館学芸員補）

4．ロビー体験コーナー

4月5日から日曜日、夏休み期間等にロビー体験学習、実演・見学コーナーを設け、地域住民に学習の場を提供した。

体験者　259名　　於　博物館

4月 5日（水）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
4月16日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
5月14日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
7月 1日（土）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
7月 2日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
7月 8日（土）	シャボン玉	指導：小池春夫（博物館長）
7月22日（土）	ペットボトルロケット	指導：小池春夫（博物館長）
8月 5日（土）	ソーラー電池でコオロギ	指導：上原　実（博物館職員）
9月 3日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
4月16日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
9月17日（日）	拓本作り	指導：篠原敬博（博物館協議会委員）
10月 1日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
10月 8日（日）	やじろべえ作り	指導：小池春夫（博物館長）
10月29日（日）	つる細工	指導：両角源美（茅野市教育長）
11月 5日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
11月12日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
11月19日（日）	糸つむぎ	指導：松沢かね（博物館学芸員補）

11月26日（日）	小鳥餌台作り	指導：小池春夫（博物館長）
12月 3日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
12月15日（金）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
12月16日（土）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
12月17日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
12月22日（金）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
12月23日（土）	しめ飾り作り	指導：平沢忠由（泉野下槻木）
12月26日（火）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月11日（木）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月16日（火）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月17日（水）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月18日（木）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月19日（金）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月21日（日）	ふくろう作り	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
1月23日（火）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
2月 4日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）
2月25日（日）	藁ぞうり作り	指導：渡辺正晴（米沢北大塩）
3月 4日（日）	はたおり	指導：松沢かね（博物館学芸員補）

5．ロビー体験発表展

いままでロビー体験等、博物館で製作した作品またはそれを発展させた作品の展示発表を行う。

期　間　3月10日（土）～3月25日（日）

場　所　八ヶ岳総合博物館（講堂）

6．ふるさと講座

① 守屋山の自然観察会　（化石、植物、動物）参加者　7名
　6月18日（日）　小池博物館長　他

② 北八ヶ岳横岳めぐり　（湖沼、植物、火山）参加者　11名
　8月20日（日）　小池博物館長　他

③ 諏訪大社史跡めぐり　（上社周辺）　参加者　11名
　10月15日（日）　立石　喜信氏（高部）

④ 地場産業の見学　（ダイヤ菊酒造工場）　（中止）
　1月28日（日）　工場責任者　前日の豪雪で中止

7．小講演会

① 坂本養川の業績（信玄流水廻しの特徴）聴講者　30名
　4月23日（日）　武居　幸重　氏（郷土史研究家）

② 蛙の生態について　聴講者　21名
　7月 2日（日）　下山　良平　氏（博物館専門委員）

③ 八ヶ岳と霧ヶ峰の四季　聴講者　15名
　7月30日（日）　岡村　康　氏（カメラマン）

④ 郷土の文学碑を尋ねて　聴講者　21名
　12月 3日（日）　荻原　儀久　氏（文芸研究家）

⑤ 寒空のオーロラ　聴講者　11名
　2月18日（日）　畑　英利　氏（博物館専門委員）

8．博物館ボランティア活動　会　員　68名

① 博物館ボランティア講座の開催

博物館でボランティアとして活動したい方を対象に、ボランティア活動に参加したり、学習、協力してもらうことを目的に開催する。

・開講式　4月23日（日）
・小講演会の聴講　4/23.7/2.7/30.12/3.2/18
・ふるさと講座への参加　6/18.8/20.10/15.1/28
・閉校式　2月18日（日）　ボランティア活動の反省会

② ボランティア活動

・遊学教室補助
・ロビー体験学習補助
・修学旅行対象体験学習の補助　盛夏期
・天文友の会　月3回（1日、11日、12日）北部生涯学習センター天文台の取り扱い研修及び研修及び天体観測を実施した。
　（講師：大谷　勝己　文化財課主任）
・探鳥会（バードウォッチング）
　4月23日（日）スポーツ公園内
　5月 3日（水）尖石縄文考古館、青少年自然の森周辺
　12月23日（土）守矢史料館周辺
　（講師：両角　英晴氏　博物館ボランティア）

9. 古文書相談会　(5月～11月の第３日曜日に実施)

古文書学習を進める上で生じた疑問等を相談する。　延べ 24名

5月14日（日）　6月18日（日）　7月16日（日）　9月17日（日）

10月15日（日）　11月19日（日）

講師：細田　貴助先生

10. 古文書解読講座　新篇塵劫記（算術書）完　31頁　受講者　39名

市内に伝わる古文書を解読する講座（1月～3月全8回の講座）

1月13日（土）　1月21日（日）　1月27日（土）　雪で中止

2月 4日（日）　2月10日（土）　2月14日（水）　雪の代替

2月17日（土）　2月24日（土）　3月 3日（土）

講師：細田　貴助先生

11. 観望会　北部生涯学習センター

各季節の星座観察　講師：大谷　勝己（文化財課主任）

4月 7日（金）	火星→大変きれいに見えた	
5月28日（日）	しし座のレグルスの食	（天候悪く中止）
6月 6日（火）	部分月食	（天候悪く中止）
7月16日（日）	スターウオッチング・レビー彗星	（天候悪く中止）
7月26日（水）	皆既月食→最初からカメラに写せた	
8月29日（火）	夏の星座	（天候悪く中止）
9月28日（木）	月面の観察→クレーターが神秘に見えた	
10月28日（土）	秋の星座	（天候悪く中止）
11月17日（金）	しし座流星群→数は少なかったが見えた	
1月16日（火）	木星と土星	（天候悪く中止）
2月24日（土）	講演会（流星、彗星）と観望会（冬の星） 講演ー国立天文台　太陽系研究者　阿部新助先生 観望会は天候悪く中止	
3月27日（火）	観望会	

博物館協議会委員名簿

〈平成11年度・平成12年度〉

委員長	平沢澄雄	
副委員長	小平昌寿	
委員	小林靖子	
委員	長田豊彦	
委員	小平邦雄	
委員	土橋正子	
委員	井原栄子	
委員	篠原敬博	
委員	山崎征夫	平成11年度まで
委員	宮坂友良	平成11年度まで
委員	伊藤岩広	平成12年度から
委員	大坪久芳	平成12年度から
委員	湯田坂正一	平成12年度から

茅野市八ヶ岳総合博物館専門委員名簿

〈平成11年度・平成12年度〉

自然	下山良平	
自然	勝野貞義	
自然	植松博39	
自然	今井文明	
自然	畑英利	
人文	細田貴助	
人文	牛山市弥	
人文	中村昭	
人文	牛山圭吾	
人文	原美伎雄	
人文	伊東一夫	平成12年度から
人文	北澤敏郎	平成12年度から

人文	篠原圓平		平成12年度から
人文	原　充		平成12年度から
人文	北澤平八郎		平成12年度から

◇◇◇ 茅野市八ヶ岳総合博物館職員名簿 ◇◇◇

〈平成11年度・平成12年度〉

館長	小池春夫	（嘱託）
係長	上原　実	
主任（学芸員補）	松沢かね	
指導主事（学芸員）	正木美香	兼神長官守矢史料館
尖石考古館館長補佐	竹村　哲	（嘱託）尖石展示により　平成12年度5月まで
尖石考古館指導主事	両角和恵	尖石展示により　平成12年度5月まで
臨時職員（文芸担当）	小口裕稔	平成12年度から
臨時職員	矢崎恵子	平成12年度から
臨時職員	小泉なおみ	平成12年度から
臨時職員	長田ひろ子	平成12年度から
施設管理	林　克則	東急コミュニティー　巡回管理

紀　要　第 9 号　　2001年 3月31日

編集発行　茅野市八ヶ岳総合博物館
〒391-0213 長野県茅野市豊平6983番地
TEL 0266 (73) 0300
FAX 0266 (72) 6119